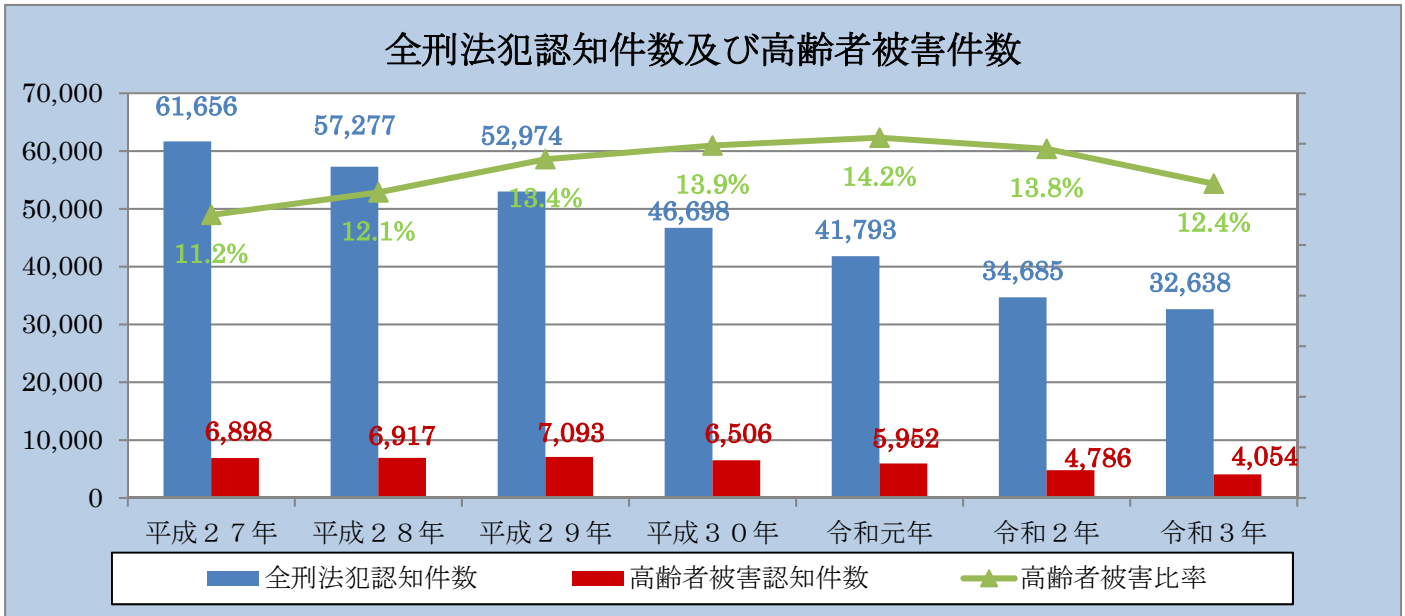
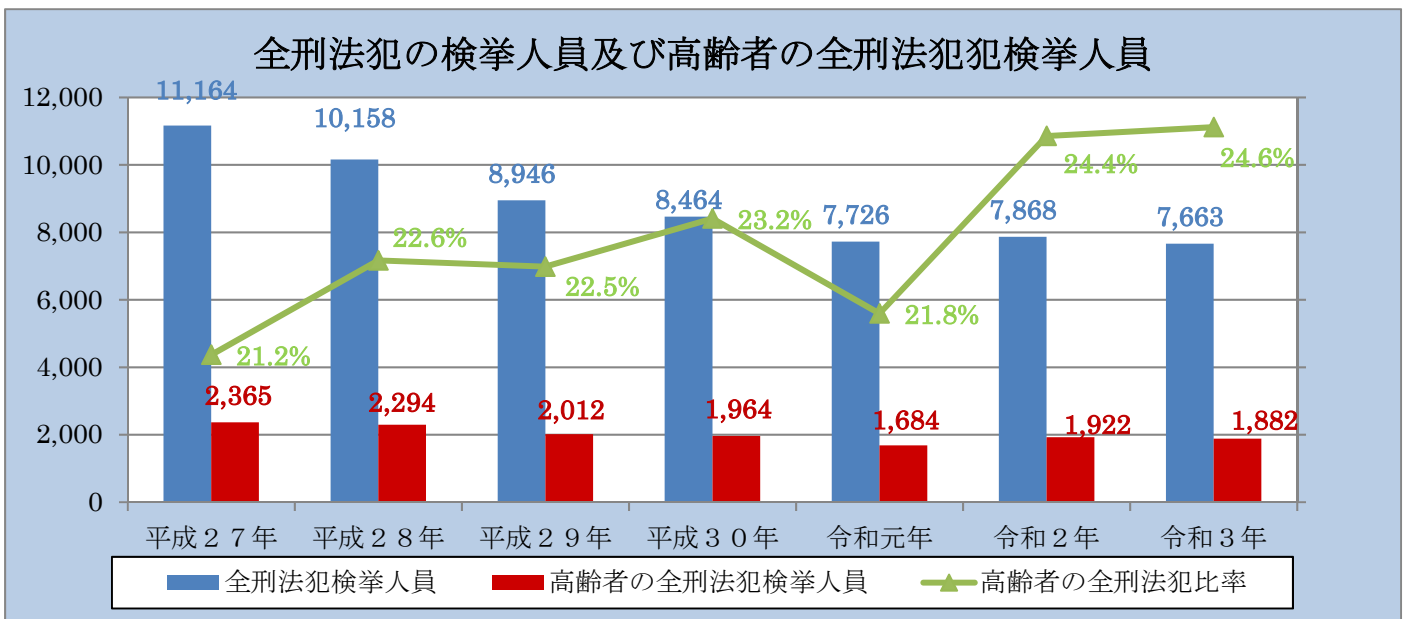


## 高齢者の犯罪被害等の推移



- 全刑法犯認知件数は平成14年をピークに19年連続して減少しており、令和3年中の高齢者被害認知件数は前年と比べ、約15.3パーセント減少している。
- 令和3年中における高齢者の被害件数及び全体に占める割合  
被害件数 4,054件（前年比-732件）  
高齢者被害比率 約12.4パーセント（前年比約1.4ポイント減少）



- 全刑法犯検挙人員が、平成18年をピークに減少傾向にある中、検挙された高齢者数はほぼ横ばいであることから、全刑法犯検挙人員に占める高齢者の比率は増加傾向である。
- 令和3年中に検挙された高齢者数及び全体に占める割合  
検挙人員 1,882人（前年比-40人、約2.1%減少）  
高齢者比率 約24.6パーセント（前年比約0.2ポイント増加）
- 検挙人員のうち、高齢者の割合が多い手口は万引き（39.9%）、自動販売機ねらい（33.3%）、置引き（25.5%）となる。